

事務事業名	教師用指導書・準拠教材整備事業		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
政策名	総合計画体系	(IV) ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	義務教育グループ	課長名	加納忠夫
施策名		(23) 学校教育の充実	担当者名	板持順子	電話番号 (内線)	0854-40-1072 3653
基本事業名		(067) 教育内容の充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業	011 510 115 110 116 中学校教師用指導書・準拠教材整備事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 4年毎繰返 (16年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21年度～23年度)	教科書改訂に伴い、教師用指導書及び準拠教材の整備を図る ・教科書改訂は概ね4年に1回行われ、小学校と中学校で改訂時期が異なる・教科書・準拠教材は、業者が学校毎に指定されている	以前から実施しているところもあったが、平成16年の町村合併を契機に平準化して開始した。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
需用費 5,742千円 備品購入費 4,636千円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	718	34,834	10,378	0	0	45,930
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
教師用教科書・指導書の必要数調査、契約、納品、支払 教材備品の要望調査、契約、納品、支払	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B)	人 時間 千円	1 40 153	1 200 778	1 200 788	0 0 0	0 0 0	440 1,719
	トータルコスト(A)+(B)	千円	871	35,612	11,166	0	0	47,649

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 中学校教科書改訂に伴う(指導書・準拠教材)の整備・予算要求 24年度計画(24年度に計画している主な活動) なし	⑤ 活動指標							
		ア 教師用指導書整備額	千円	718	22863	5742	0		
		イ 準拠教材整備額	千円	0	11971	4636	0		
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	児童生徒 教職員	⑥ 対象指標							
		ア 児童生徒数	人	3441	3344	3265	3202		
		イ 小中学校教職員数	人	405	401	399	375		
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	指導書・準拠教材の整備により授業をスムーズに行うことができる 効果的な指導を受けられる	ア 児童生徒数	人	3441	3344	3265	3202		
		イ 小中学校教職員数	人	405	401	399	375		
		ウ							
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	生きる力を身につける	ア 学校に行くのが楽しいと答えた児童の割合	%	87.4	85	89.2	90		
		イ 学校に行くのが楽しいと答えた生徒の割合	%	86	87.7	87.5	90		

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
旧町では、学校の要望どおりの予算措置されている町やごく一部しか措置されない町等様々な対応であったが、合併を機に平準化された。基準を定めて公費負担を行っている。	教科書及び指導書の購入に際し、購入基準を設けた。	準拠教材の早期納入(学校)

事務事業名	教師用指導書・準拠教材整備事業	所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 教科書改訂に伴う指導書や準拠教材の整備は、学校教育の充実に結びつく
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 義務教育であること 雲南市立小中学校の児童生徒、保護者への支援であるため、市が行わなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 義務教育であり、小中学校が対象となる
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 準拠教材が授業でどの程度必要か見極めが困難
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 教科書に準じた学習ができない
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 教材備品整備との統合
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 指定業者のため、専売となっている
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 教科書改訂に伴う事務であるため
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 全ての学校を対象としている

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	厳しい財政状況の中、十分な教材の確保ができない。 指導書等について、特に中学校は人事異動等により教科担当者数(必要数)の把握が新年度にならないと確定できないため、 今後は改訂の前年度ではなく当該年度に予算化した方がよい。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 単価、量(必要数)、質(必要な物であるか)の問題 単年度ではなく4年間影響するため、年度によっては指導書が学級数の増による不足するが、比較的高額なため、整備することが難しい。(相互共有・情報の共有化を図り対応を行う。)																						